

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsushin

八幡堀と町衆の430年の道のり

通信 八幡堀界隈 瓦 かわら版

2017 Vol.23

知って得して、見て得して、町の歴史



八幡堀界隈のお店へ行こう！

近江八幡開町の祖「豊臣秀次」と「八幡商人」
〔灰屋 中村久兵衛〕（正神町）



蒲生郡安土村豊浦の里、庄神に住み、中村光善は佐々木に属した由緒ある武士の家柄であり、佐々木氏が没落後、当時海外貿易の要であった泉州堺に出店し、中村光善は灰屋中村久兵衛と改名して商道に入りました。天正十年（1582）織田信長が本能寺の変で討たれ、天正十二年（1585）豊臣秀次が八幡山城を築城した際に勧誘に応じて八幡に移り住み、八幡山城正面にあたる本町の東隣の要地を与えられ、安土城下の前住の地名庄神を取って町名としました。安政六年（1859）の頃には庄神の地名は残っており、現在は正神と明治になって改められ、小幡町になるのですが、小幡町上、中が存在しますが小幡町元がないのは、灰屋中村久兵衛の豪邸が庄神町にあったためであると推測されています。

八幡商人の初代は中村光善の子、善清が灰屋中村久兵衛で、堺に出店した時は既に相当の資本を持ち更に堺貿易で一層の増殖をみたものと考えられます。大坂城落城後徳川幕府により、江戸が首都となり近江の豪商は日本橋を中心とし、二丁目通りに八幡商人が軒を並べました。慶長八年は久兵衛三十八歳で最盛期であり、日本橋上横町に店舗を設け生糸、絹物、八幡産の蚊帳、畳表の販売を始めました。九十三歳で逝去する約六十年間に巨額の利を博しました。

二代目も父親に似て敏腕家で商界に駆使し、大名に取り入って御用達を務め、特に徳川大奥の春日の局の息、小田原城主稲葉丹後守正勝の後援を受け十分の待遇をもって荷物会符の使用を許されました。商人『灰久』の権威は絶大なものでした。

三代目は江戸の不景気が続き武州本庄に江戸店を移しました。本庄は当時養蚕の中心で交通の便もよく同地新田町に大店舗を建築し「糸、絹方」「麻布、蚊帳方」「畳表、荒物方」「醤油醸造方」とし、広く関東一円を商圏として活躍しました。

四代目久兵衛は三代目の弟で益々隆盛を極めました。

五代目も商業繁栄して巨万の財は年々累加し、福徳長者として世間から羨望の的となりました。しかし宝暦十二年（1762）朝の火災によって店舗倉庫の一切を無くしました。六代目は十四歳の時に火災に遭っており、先代とは四歳で死別しており母は将来を見据えて、店員達と共に勉勵して積極的に業務の拡大を図りました。六代目は塩、砂糖、茶紙等に加え新たに店舗を新築し敷地内に倉庫二十一戸を建設して盛況を博しました。現在の百貨店様式を採用しています。江戸幕府の御用も勤め、京都では御室御所の御用達も受け八幡商人灰屋久兵衛の威勢は豪快なものでした。

七代目は二十一歳で死去し、その妹が分家をし中村家が八幡朱印騒動に努力しました。八代目は京都にある九軒の生糸、絹布の大問屋と幾万両の取引をし中村家の全盛時代でした。八代目には子が四人有り長男は九代目として家をつぎ、長女は竹岡家に、次女は西川甚五郎家に嫁ぎ、次男は灰屋中村善右衛門の初代となりました。また書画、詩文、禅学に秀で、慈善事業にも尽力しました。孫平治町同覚院に葬られています。

十代目は三十九歳で死去し、この時代に維新の変革によって出店を閉鎖したと言われていいます。十一代目は西川甚五郎家の商務に預かり五十七歳で死去しました。十二代目は東京西川甚五郎店に勤務しました。

先祖以来近江八幡に四百年間継続して居宅を構え、子々孫々先祖の祀りを怠らず旧家の一として現存し、当時の家訓も残され、天祥棒から苦節の商人ではなく、武士から商人となり巨額の富を得た雄偉なる八幡商人です。

正神町 旧中村邸

※参考文献 近江八幡人物伝 近江八幡郷土史会刊より抜粋

賀茂神社

午後1時より賀茂祭 齋行

馬走伏足

午後3時頃 足伏走馬 神事

滋賀県近江八幡市加茂町1691
賀茂神社社務所 0748 (33) 0123
HP <http://kamo-jinja.or.jp>

大祭五月七日(日)午後一時斎行

古式による正式な形の競馬行事として、全国に二箇所しか行われていない、歴史的にも文化的にも貴重な行事です。天智天皇が当地を全国初の国営牧場に選定し、天平八年に神社が創建された頃より競馬が行われていました。平安時代に宮中武徳殿前庭で行われていた「競馬会」を当社にて継承して行われており、現在の競馬が確立されたのもこの行事が原型とされています。

日本最古の国営牧場建設地にあり、馬の聖地とも言われる賀茂神社でこの行事が行われているのは非常に意義のあることです。賀茂神社は、日本の災厄を封じる為、日本再生の為、聖武天皇の勅命にて創建され、現在全国各地より導きの神様として崇敬されるほか、縁結・子授・安産の守護としても、ご縁を結ぶ商売繁盛、病氣平癒の神様としても、交通安全の神様としても崇敬されている神社です。

クイズ

八幡商人は武士の出身が多いのが特徴です。灰屋中村久兵衛も武士出身です。さて最初に仕えた領主は〇〇〇氏です。さて何氏でしょう。

◆抽選で5名様 葺うどんお食事券ペアを差し上げます
・ご希望の方は答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、官製はがき又はFAXでご応募下さい。抽選でお送りします。
(応募締切は4月5日必着)
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒523-0837
近江八幡市大杉町30の1(有)ほのぼの館 クイズ係
FAX 0748-32-3514

当選者発表
おめでとうございます！

池田本町	O.Eさん	答え：玄直屋
堀上町	Y.Kさん	
慈恵寺町	M.Sさん	
永原町	S.Iさん	
八幡町	F.Aさん	

COFFEE & BREAD SASUKE

サスケ

自然の中でゆったりと時の流れを静かに感じて頂けます。店内はログハウス調で木の温もりと窓から見える三上山や比叡山を見渡せ風光明媚なところです。

当店自慢のクロワッサンやシフォンケーキ、あんかけパスタなどオーナー自慢の手作りの食材でお楽しみ頂けます。

駐車場 15台完備

〒523-0072 近江八幡市牧町2586-3
営業時間/8:00~18:00(モーニング8:00~10:00)
定休日/水曜日 TEL 0748-31-3557



お誕生日・記念日 花束プレゼント (5月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 10名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

*ウルトラセブン 放送開始50年記念 モロボシ・ダンの名をかりて 5月8日迄 50名様

京都高島屋7階グランドホール

*アニエスベーフォトコレクション 5月14日迄 30名様

美術館「えき」KYOTO

*杉浦非水 モダンデザインの先駆者 細見美術館 6月11日迄 50名様

*うつわ ドラマチック 滋賀県立陶芸の森陶芸館 6月11日迄 50名様

*プロ野球手帳 10名様

*井上章一の現代洛中洛外もよう スクラップブック 20名様

締切

花束
洗剤、チケット等

4月30日迄
5月5日迄

当選者の発表は発送をもって代えさせて
頂きます。予めご了承ください。

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品を「記」の上、
官製はがき又はFAXで下記販売所まで、「応募下さい」。抽選でお送りします。

近江八幡の観光スポットを訪ねてみませんか!

かわらミュージアム

かわらミュージアムは、平成7年に近江八幡市が、地場産業である八幡瓦の普及と先人の技術や知恵を後世に伝え、町づくりの拠点として生かしていくために建設されました。

建物全体が、展示物ともいえる10棟からなる瓦づくしの建物です。24,000枚の屋根瓦を、周囲の町なみの景観に合わせるため、新品の瓦の表面のいぶしを、一枚一枚ていねいに金ブラシで削り落として古く見せています。

かわらミュージアムには、たくさんの草花・樹木があります。さらに、古い瓦のリサイクルなどで作られた散策道を設け、敷地全体を瓦で演出した庭に見たてています。

敷瓦のデザインは、正面玄関が「渦巻く川の流れ」玄関左側に尾形光琳の「紅白梅図」模写による「瓦の川の流れ」またメインの中庭には、織姫と彦星が年に一度七夕に出会う「恋（堀から飛び出した鯉とかけて）の広場」と天の川などがあります。裏入り口の散策道には、ビー球をあしらった「花の道」があります。また、建物の白壁を見上げていただくと、様々な飾り瓦が配置されています。

正面玄関脇の頭上には、雲の上を行く「かぐや姫昇天の絵図」中庭の頭上にはしだれ桜に花を咲かせる「花咲かじいさん」（裏には「花咲かばあさん」）、「行きはよいよい帰りはこわいの道」（道具室前の通路）の突き当たり（収蔵庫入り口）には、「人吞鬼（人を食う鬼）」

この通路中央頭上には、「お雛様とお内裏様の相合傘」このように一見迷路のような小道にもお楽しみがいっぱいです。館では、『かわらミュージアムキャラクター鬼っこちゃんの「かわらミュージアムでさがしてみよう!」というぬりえパンフレットを作り、お子様たちにちょっとした探索ゲームをしていただけます。

かわらミュージアムは、春夏秋冬、晴れの日は晴れの日の美しさ、雨のは雨の日の美しさを感じていただける施設です。ミュージアム内にあるしかけや物語は、訪れる人々を「静」の空間、癒しへと導きます。

連絡先 〒523-0821 近江八幡市多賀町738番地の2
TEL0748-33-8567 FAX0748-33-8722
指定管理者 「株式会社 かんでんジョイナス」
ご利用時間 入館は午前9時から午後4時半まで
閉館は午後5時です
休館日 毎週月曜日 祝祭日の翌日(祝祭日が月曜日の場合はその翌日) 年末年始
5月・6月・10月・11月は無休です
(ただし事情により予定外に休館する場合もあります)
事前に電話等でご確認ください
入館料 一般:300円・小中学生:200円
10名様以上の団体はそれぞれ50円引



〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

町家 MACHIYA INN Classic Style & Modern Comfort

歴史と伝統が静かに息づく街、湖国滋賀、近江八幡。その中心にある客室3部屋のみの小さなゲストハウスです。

https://www.omi-machiyainn.com

1階に客室2部屋(和室)、談話室、共同キッチン、2階は客室1部屋(洋室)となります。
トイレと洗面は1階と2階の両階にあります。
浴室、シャワー室は1階です。(共同)

- Wi-Fiは、全館で使えます。
- チェックインは、15:00~18:00
- チェックアウトは10:00まで

お食事はオプションです。提携店をご案内致します。

(電話対応: 10:00~16:00) E-mail info@omi-machiyainn.com

料金(ルームチャージ)

- 和室1(定員10名)¥32,000(税別)~
- 和室2(定員5名)¥21,000(税別)~
- 洋室(定員4名)¥32,000(税別)~

ご予約は、MACHIYA INNのウェブサイト、お電話または各種予約サイトから。

co-ba OMIHACHIMAN MACHIYA CLUB

co-ba(コーバ) OMIHACHIMANはどんなワークスタイルにもご利用いただけます。

- ◆営業時間 10:00~16:00
- ◆不定休 休業日はウェブサイトをご確認ください。
- ◆月額利用 (スタンダード月額5,500円) 1day利用(500円/日)も可能です。また、約50人規模までのイベント会場や展示ギャラリーとしても建物内の蔵やラウンジをご利用いただけます。(貸切利用2,500円/3H~)

2F会員用ワーキングスペース 貸しギャラリー

co-ba OMIHACHIMANにもう一つの自分の拠点を作りませんか? 築300年の造り酒屋を再生した近江八幡の古き良き街並みの中にあるシェアードワークプレイスです。異なる職業や仕事を持った人々で共用の仕事場等として利用するスペースです。見学等をご希望の場合は以下のメールアドレスまでお問い合わせ下さい。

Web http://tsukuruba.com/co-ba/omihachiman/
E-mail coba.omihachiman@gmail.com

近江八幡まちや倶楽部
http://www.machiya-club.org/
〒523-0862 滋賀県近江八幡市仲屋町中21
TEL/FAX 0748-32-4654